

地域自治センターだより

〔編集〕上田市真田地域自治センター 地域振興課 〒386-2292 上田市真田町長7178-1

有線2015 TEL0268-72-2200 (代表) FAX0268-72-4140

さなだ

No.12

平成22年

2010 1.16



真田地域の
イベント＆
スポーツ大会等

- 1月 18日 交流・文化施設等整備計画説明会
(真田公民館〈文化会館〉大ホール・午後7時～)
29日 資源循環型施設建設候補地公募説明会
(真田地域自治センター3階・午後7時～)
30日 真田地域消費生活展
(市民生活課 (有)2046 ☎72-0154)
- 2月 6日 シリーズ文化講演会真田会場
小和田哲男氏
「歴史に学ぶ戦国武将の生き方と現代」
(教育事務所 (有)2097 ☎72-2655)
11日～ 2010FIS菅平高原カップスキー大会
(教育事務所)
20日～ 第51回菅平シュナイダー記念スキー大会
ノルディックシリーズ(教育事務所)
28日 真田地域小学生ドッジボール大会
(さなだスポーツクラブ (有)2035 ☎72-2657)
- 3月 7日 分館対抗卓球大会(真田公民館)
1日～ 第51回菅平シュナイダー記念スキー大会
SAJ-B級大回転競技(教育事務所)
13日 第51回菅平シュナイダー記念スキー大会
一般大回転競技(教育事務所)
17日 真田中学校、菅平小中学校卒業式
18日 長、傍陽、本原 各小学校卒業式



そえひ保育園では、園児手作りのキャンドルに炎をともし、クリスマス会が行われました。途中でサンタさんもプレゼントを持って登場。ひとりひとり、手渡してプレゼントをもらいました。みんなで作ったツリーの前で、年長さんの素敵なハンドベル演奏もありました。



ふるさと寄附金のおねがい

上田市へのふるさと寄附金のメニューの中に真田地域のものとして「スポーツのメッカ「菅平高原」スポーツ施設整備推進事業」があります。今まで上田市にふるさと寄附金として寄附のあった約8,300万円のうちこのメニューへのご寄附は18万円となっています。皆様の、菅平高原をそして真田地域を応援する熱い心をお待ちしています。

☎ 地域振興課 (有)2015 TEL72-2202

真田行列ウォーキング写真展のお知らせ



市補助の「わがまち魅力アップ応援事業」として10月に開催された、真田行列ウォーキングの写真展を、自治センター1階で開催します。(1月下旬頃の予定です。大勢の皆さんご覧下さい。)

スキー・スノボは **断然お得な菅平へ!!**
市民優待券あります。

(免許証などの上田市民の証明になる物をお持ちください。)

一日券

大人 **4,300円**
中学生 **4,300円**

中学生はスーパーラッキー!

小人 **2,500円**

大人 **3,300円**

中学生・小人 **2,000円**

シーズン券
60,000円

断然お得!!

シーズン券
30,000円

※いずれもICチップの保証料1,000円が必要です。
(ICチップ回収機で返金します。)

しかも!
毎月第三日曜日(1/17・2/21・3/21)は
小学6年生以下リフト無料!!

情報は <http://sugadaira.com/event.html> で!

カメラニュースでは、地域の中
の様々な出来事や話題を
お届けします。

カメラニュース

本原小学校開校120周年

明治22年に開校した本原小学校(長井久美子校長:児童数290人)は今年120周年を迎え、11月21日に記念式典が行われました。児童たちも「はらっこフェスティバル」を行い、日頃の学習成果を発表し、また地域の伝統芸能「荒井神楽保存会」の神楽を鑑賞し、120周年を祝いました。



はらっこフェスティバル



荒井神楽保存会



書道クラブ・教室



生け花・盆栽

また、舞台発表会の真田公民館では、楽器演奏や舞踊、吟詠などの日頃の成果が披露され、たくさんの方の拍手が贈られていました。

真田総合文化祭から

11月1日から3日まで、真田町文化協会(佐藤和雄会長)主催の真田総合文化祭が開催されました。展示発表会場となった真田体育館には写真や書画、陶芸、生け花など様々な作品が会場一杯に並べられ、訪れた人の目を楽しませていました。



月琴会



菅平小学校2年生



いずみ幼稚園の園児たち

手作りカレンダー 頂きました

いずみ幼稚園とそえひ保育園の園児たちが、それぞれ手作りのカレンダーを自治センターに届けてくれました。大切にさせていただきます。

●素晴らしい風景、珍しい動植物などの話題がありましたら、デジタル写真と共に地域振興課までお送りください。(紙面の都合で掲載できない場合もありますが、ご了承下さい。)

有線放送電話審議会答申【真田地区有線放送電話事業の今後のあり方について】

市では、平成20年10月に、13人の委員による真田地区有線放送電話審議会を設置し、真田地区有線放送電話事業の今後のあり方を諮問しました。以後、7回の審議会が開催され、昨年12月9日、市長に「現行設備を維持し、存続されたい。」との答申がありました。

その理由として、①加入者が減少しているとはいえ、現在7割近い加入率があり、5年後においても健全経営が見込めること。②現行設備類の維持管理は、当面は可能であること。③放送機能は地域情報の主要な伝達手段の役割を担っており、更にインターネット接続サービスも利用され

ていることなどが挙げられました。

また、付帯意見として、今後の健全経営の維持や放送番組の一層の充実に努めることや、今後必要に応じ審議会を設置し真田地区有線放送電話事業のあり方を検討することが付されました。

市では今後この答申を尊重し、方針を決定します。



答申書を手渡す
横沢正勝審議会会長(右)



真田地域協議会だより

分科会での協議内容について

三つの分科会で協議を進めている内容について、各分科会長から協議内容の報告がありました。この報告を基に、地域協議会としての意見をまとめていく予定です。

第一分科会

「地域の特性を生かした

まちづくり」

(花岡静枝分科会長報告)

地域に活力があり、住んで良かったと思える地域とするためにはどうしたらよいか。行政と住民の協働によるまちづくりの中でそれぞれの役割分担の明確化が必要であり、特に真田地域に欠けていると感じられる、地区と地区、自治会と自治会など、横のつながりを地域振興に役立てるための持続ある取り組みが必要である。

また、各自治会で行われている「地域づくり委員会」は道路工事や農道、水路の話が中心となっており、「創意工夫」「まちづくり」につながる内容が少ない。各種団体と連携し、一つの自治会よりさらに広域的な課題に取り組むべきである。

このようなことから自治会長任期の複数年化が望ましい。また

は、新たな組織として地区単位程度の「仮称・地域振興協議会」の組織を提案する。そして、住民参加の方向を探り、男女共同参画の下、地域の振興を図ることを提案する。



花岡静枝第一分科会長

第二分科会

「農業との観光の振興」

(清水茂分科会長報告)

「ゆきむら夢工房・新鮮市」を地域内の観光拠点として整備することを第一とし、さらに、スポーツ施設の整備、地産地消の推進、体験型農業の展開を図ることを提言する。

まず、観光拠点として立地に優れた「ゆきむら夢工房・新鮮市」を活用すべき。具体的には案内標識や看板・モニタメントの設置、夢工房を拠点とする地域内の交通手段の確保等によ

り、点在する観光資源を結びつけるとともに、知名度のある「幸村」のブランドを活かした、観光客に魅力ある「真田氏発祥の地」を提供する。他の観光施設の整備も必要となる。

また、「菅平高原」のブランドを更に確立する施策のひとつとして、代表的なスポーツ施設であるサニパークの設備・施設の拡充が重要で、ここに人工芝グラウンドを整備することを提言する。

そして、農家と宿泊業が連携する体験型農業を展開させ、また地域内小中学校における地産地消のより一層の充実を図る。



清水茂第二分科会長(右)と
佐藤和雄地域協議会副会長

第三分科会

「安心して暮らせるまちづくり」

(中澤盛雄分科会長報告)

中心市街地への距離的格差から生じているバス運賃の高負担を解消するために、昼間の運賃を半額にするなどの対策の検討を提案したい。また、特に遠方である菅平地域の高齢者に対するバス運賃の補助制度について、全市域での公共サービス享

受の公平性も考えながら検討していくことを提案する。また、福祉バスである「ふれあいバス」を公共バス化することにより、より多くの住民が地域内移動の手段として格安に利用できるようにすることはできないか、あるいは高齢者対策としてのデマンドバス導入の検討も提案する。



中澤盛雄第三分科会長(左)と
清水潤地域協議会会長

また、独身男女の結び合い事業については、以前広域連合で事業を行っていたが現在では中断している。これについて上田市社協、JA信州うえだ、東御市、長和町、青木村などと話し合いを行ってきた。いずれも他地域にまたがった広い事業展開を望んでいる。お互いに連携し、広域連合を軸とした事業を再開できるよう協議していきたい。

わがまち魅力アップ応援事業
募集します

市が自治会やまちづくり団体の活動に補助金を出す、「わがまち魅力アップ応援事業」の選考申し込みの受付を行います。

【申込期間】

1月25日～2月19日

【申し込み場所】

自治センター2階地域振興課

●補助金は2種類あります

①自治会を対象にする補助

(個性あるふるさとづくり応援事業)

地域の自然や文化を活かした事業を行う自治会に対し、百五十万円まで補助金を出します。

②市民活動団体を対象にする補助

(特色あるまちづくり応援事業)

5人以上でまちおこしの事業などを行う団体に対し、百万円まで補助を出します。

実施を希望される方は期限内に余裕を持ってお問い合わせ下さい。

【この補助金は、合併特例債の運用益を使い実施しています。】

問 地域振興課

(有)2015 Tel72・2202

真田図書館建設状況

県道、福祉センターとの段差も整備され、12月24日に安全祈願祭を行いました。



真田地域教育事務所 (有)2244 Tel72-2655

真田地域人権教育学習会を終えて

最近、親の虐待や介護疲れによる殺人、学校での陰湿ないじめ等が連日報道され、私たちの気持ちを暗いものになっています。そのような中、「子どもの人権問題」をテーマに行われた学習会には、34会場で403人という多くの参加者がありました。ファシリテーターとして真田地域小・中学校の教員が参加し、身近な問題としてアドバイスをしました。そして、真田地域の子どもたちは素直で挨拶が良くできるといふ日常の姿と、「真田でもいじめがあるのではないか」「その一因と考えられる親の生活態度の見直し」まで幅広く熱心に話し合いが進められました。

子ども同士の関わりが薄れる中、家庭内での教育（しつけ）の難しさの意見が目立ちました。さらに、社会の「いじめ」へと話は展開し、「いじめと傍観者」が中心テーマとして話し合いが深まって行きました。その中で、「子どもは親の背中を見て育つ」の例えからも、大人が積極的に行動していかなければ「いじめ」



はなくならないという現実を突きつけられました。また、健全な社会を機能させるものは、これまで築き上げてきた「温かい真田地域の教育力」ではないかと思えます。しかし、真田でも昨今の核家族化などで個々の生活が尊重される一方、近所のふれあいが疎んじられる状態でもあります。「真田地区だけは大丈夫！」は、通用しない時代に入ってきていることを前提に対処しなければいけないと感じました。

学習会を進める中で、参加者の皆さん一人ひとりが現状

を捉えられたようです。普段は、身近すぎて見逃されやすい親子関係が、「子どもの人権問題」として身近な問題に目を向けることによって、親子関係の見直しから地域の教育力の向上まで話が及びました。そして人権教育が基本的に掲げる「相手の立場を認め、お互いを尊重する」ということを確認でき、狙いに沿った学習会となりました。

第51回 菅平シュナイダー記念スキー大会 開催のお知らせ

“スキーの父”といわれるハennes・シュナイダー氏の菅平高原来訪を記念し、毎年開催しているシュナイダー記念スキー大会。ノルディックシリーズのうち、ジュニアジャンプ大会は長野県小学校ジャンプ大会を兼ねています。またアルペンシリーズは、市民の皆様をはじめどなたも出場できる一般大回転大会と（財）全日本スキー連盟B級公認大回転大会を行ないます。お問い合わせは事務局まで。

期 日

ノルディックシリーズ…2010年2月20日(土)・21日(日)

アルペンシリーズ………2010年3月10日(水)～12日(金)

SAJ-B級公認大回転大会

2010年3月13日(土)

一般大回転（申し込み〆切2月22日）

☎ 大会事務局 真田地域教育事務所 (有)2097 TEL72-2655



ご寄附いただきました。

建設中の真田図書館の図書充実のために、現金20,000円をご寄附いただきました。図書購入費として大事に使わせていただきます。なお、お申し出によりお名前は掲載いたしません。ありがとうございました。

中学校納税標語入選作

上田市などが募集した平成21年中学生納税標語で、各賞を受賞した、真田中生徒・菅平中生徒の作品を紹介します。

上田市長賞

税金を納めて成り立つ町づくり

真田中 志野 裕哉さん

税金で作ろうぼくらの夢と街

真田中 若林 優作さん

明るい未来みんなの税でつくれる

菅平中 下平 美里さん

税金で笑顔が増える 日本の未来

菅平中 清水 直子さん

上田税務署長賞

納めよう未来を支える税金を

真田中 坂口 詩歩さん

税金でたすかる人がそこにいる

菅平中 宮崎 優也さん

上小更埴租税教育推進協議会長賞

税金でつくる未来の理想郷

真田中 堀内 貴史さん

納めれば変わるものがそこにある

菅平中 柿沼 遥佳さん

上田関税会長賞

消費税皆で納めて明るい社会

真田中 大井 侑紀さん

真田地域の話題を募集します

真田地域の身近な出来事や取り組みを紹介していきます。自分たちの活動を知ってもらいたい、多くの人に参加してほしいなど、掲載を希望する話題をお知らせください。

地域振興課

TEL 72-2202 (有)2015